

日蓮宗宗務院伝道部 国際課主催
令和3年度スタディーツアー
第2回 修行道場での食の実践

～日蓮宗のスタディーツアーの目指すもの～

国際協力・国際交流・諸宗教対話の各分野での学びや体験を通して、
国際布教方針“**You are a Buddha**”が表す、分け隔てのない敬いの心を持つ人を育みます

令和3年度のスタディーツアーは、仏教の「食」をテーマに、講話と体験を紐づけた全3回のセッションをオンラインにて開催します。

第2回のテーマは、修行道場での食の実践

日蓮宗の修行道場では伝統的にどのような食事が実践されてきたのでしょうか。今回は、修行道場での実践の一例として、日蓮宗の寺院である遠壽院の荒行堂ではどのような食についての教えが伝えられているのか戸田善育人にご講演いただきます。



遠壽院とは

千葉縣市川市中山にある大本山法華経寺の塔頭寺院であり、江戸時代から400年来続く荒行の修行道場としても知られる。遠壽院荒行堂は、日蓮門下各宗派から広く修行僧を受け入れ、代々の住職がその修行法を脈々と伝えている。

この講演でこんなことがわかる

- 遠壽院の荒行堂ではどんな修行をするの？
- 遠壽院の荒行堂の食事に決まりはあるの？
- 食事を作ることが修行になるの？
- 修行中の食事は体にいいの？
- 神仏へのお供えにはどんな意味があるの？

開催日時

令和3年11月30日 14:00～16:00

※オンラインミーティングツール「ZOOM」を使用しての開催となります

対象：日蓮宗の教師・沙弥・寺族・檀信徒

定員：50名（申し込み先着順）

応募締切：11月23日

※定員になり次第、募集を締め切ります。

申し込み方法：下記のURL または QRコードから
必要事項をご記入の上、お申し込みください。

<https://forms.gle/U657HrpPrSRYM26WA>



参加
無料

講師プロフィール

戸田善育

遠壽院住職。

1953年、東京生まれ。

國學院大學文学部哲学科卒。

毎年11月1日より翌2月10日まで開催される遠壽院荒行堂の伝師を務め、遠壽院に脈々と伝わる祈禱修法についての相伝を行っている。

